

2025 年 11 月 28 日

各位

株式会社三井住友銀行

トーカロ株式会社への「グリーンローン」の実施について
～「神戸サステナブルファイナンス・フレームワーク」を活用した第1号案件～

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）（以下、「三井住友銀行」）は、トーカロ株式会社（代表取締役社長執行役員：小林 和也）（以下、「トーカロ」）に対し、グリーンローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。なお、本ローンは神戸市が策定した「神戸サステナブルファイナンス・フレームワーク」（以下、本フレームワーク）に基づいており、本フレームワークを活用した第1号案件となります。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポーティングを通じ透明性が確保されたものを指します。

本フレームワークは、神戸市が市域の脱炭素投資に係る資金調達をサポートする枠組みとして三井住友銀行の支援のもと策定したもので、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より国際金融業界団体の LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「グリーンローン原則（2025 年版）」、並びに環境省にて策定された「グリーンローンガイドライン（2024 年版）」において求められる項目について 基準を満たしているとの評価を得ています。

トーカロは、「ビジョン」（2030 年の目指す姿）及び「ミッション」を以下のとおり定め、グループを挙げて社会課題の解決と企業価値向上を追求しています。

- ビジョン（2030 年の目指す姿）：「人と自然の豊かな未来に貢献する」
- ミッション：ESG を重視した継続的な成長による企業価値の向上

トーカロでは、このような取組の一環として、神戸市の「脱炭素先行地域」に参画し、2030 年までに本社施設の電力消費に伴う CO2 排出量の実質ゼロの達成を目指しており、本ローンにより調達した資金については、本社施設の脱炭素に貢献する「ソーラーカーポート」、「屋根置き太陽光パネル」等の整備費へ充当される予定です。なお、本ローンは分割実行を予定しております。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成に一層貢献してまいります。

【本ローンの概要】

貸付人	株式会社三井住友銀行
借入人	トーカロ株式会社
調達資金総額	1 億円

(ご参考)

トーカロ株式会社ホームページ：

<https://www.tocalo.co.jp/>をご参照ください。

神戸市サステナブルファイナンス・フレームワーク：

<https://www.city.kobe.lg.jp/a73498/energy/20250930.html>をご参照ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

法人戦略部サステナブルソリューション室

TEL：03-4333-6965

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。